

2017年(平成29年)7月29日 土曜日

山 陰 新 月

国際協力機構（JICA）は28日、食品乾燥機メーカーの大紀産業（岡山市北区清心町）がアフリカ東部のスーダンで計画するタマネギ乾燥機の販売事業を、「中小企業海外展開支援事業（普及・実証

事業）」として採択したと発表した。政情不安などで乾燥タマネギの生産が停滞しているスーダンに同社の乾燥機を普及させ、現地の農業再生を目指す。

（鳥越謙一）

# タマネギ乾燥機販売

## 大紀産業のスーダン事業 JICA採択



高温多湿のスーダンは、生鮮食品が腐りやすいため保存食のニーズが高く、乾燥タマネギは主要産品のひとつとされる。だが、2006年に大規模な国営乾燥工場が操業を停止。生産が縮小し、農家の収入が圧迫されている。大紀産業は大規模工場に替わり、農家組合単位で乾燥機を導入するビジネスモデルを提

## 農業再生を目指す

ニーズ調査のためスーダンに設置した乾燥機のサンプル



案。タマネギの産地・リバーナイル州とカッサラ

JICAから1億円の補助金を購入を促す。乾燥機は現在開発中。州にPR用の乾燥機（生産能力1日360キ）計6台を設置し、現地の農家に利用してもらいながら1年程度で設置する。JICAの同事業は、途上国のニーズと日本の中小企業のマッチングを図るため、12年度にスタート。今回の普及・実証事業には大紀産業を含む19件が採択された。岡山県の企業が選ばれたのは初めて。

同社は15年度にもJICAの別の支援事業に採択され、同国に乾燥機のサンプルを持ち込んで現地のニーズを調査していた。安原宗一郎社長は「タマネギ乾燥の新たなビジネスモデルを構築し、小規模農家の所得向上に貢献したい」と話している。